

## 感染症の登園基準

| 病名                      | 潜伏期    | 感染可能期間                        | 主な症状                                     | 登園基準                                       | 証明書 |
|-------------------------|--------|-------------------------------|--|--|-----|
| インフルエンザ                 | 1~4日   | 感染後約10日間                      | 発熱、全身倦怠、<br>筋肉痛、鼻カタル、<br>咽頭痛、咳           | 発症後5日を経過し、かつ、<br>解熱した後3日を<br>経過するまで        | 保護者 |
| 新型コロナ感染症<br>(COVID-19)  | 1~14日  | 発症前2日~<br>発症後10日              | 発熱、頭痛、味覚・嗅覚障害<br>下痢等                     | 子どもの症状が回復し、かかりつけ医に<br>より、集団生活に影響ないと判断されたとき | 病院  |
| 百日咳                     | 7~10日  | 感染後約3週間                       | 発作性咳の長期反復、<br>持続                         | 特有の咳が消失したとき。<br>または抗菌性物質製剤による治療が終了するまで     | 病院  |
| 麻疹(はしか)                 | 8~12日  | 発症出現の前後<br>4~5日               | 口中、首に赤い発疹<br>発熱、食欲不振                     | 解熱後3日を経過し、元気があるとき                          | 病院  |
| 流行性耳下腺炎<br>(おたふく)       | 16~18日 | 特有な症状を見せる<br>7日前から、その後<br>9日間 | 発熱、耳下腺、舌下腺<br>顎下腺の腫脹及び圧痛<br>(耳たぶ等の下がはれる) | 耳下腺、顎下腺、舌下腺の腫れが発現した後5日を経過し、かつ、全身状態が良好になるまで | 病院  |
| 風疹<br>(三日はしか)           | 16~18日 | 発症出現の前後7日間                    | 種々の発疹、軽熱、<br>リンパ腺腫大                      | 発疹が消失し、5日を経過<br>したときから                     | 病院  |
| 水痘<br>(水ぼうそう)           | 14~16日 | 発症出現前2日~<br>発現後6日間            | 軽熱、被覆部に発疹、<br>黄斑丘疹状→水疱→<br>顆粒状痂皮(かさぶた)   | 全ての発疹がかさぶたになり、かさぶたが全部とれたときから               | 病院  |
| 咽頭性結膜炎<br>(プール熱)        | 2~14日  | 潜伏期間後半~<br>発症後5日間             | 発熱、全身症状、咽頭炎と結膜炎<br>の合併症状                 | 解熱し、主要症状がなくなった後2日を経過したとき                   | 病院  |
| 急性<br>出血性結膜炎            | 1~2日   | 発病後4日                         | 流涙、結膜充血、<br>眼瞼浮腫、滲出液                     | 主な症状が消え、2日経過<br>したときから                     | 病院  |
| 流行性<br>角結膜炎             | 2~14日  | 発病後約2週間                       | 軽熱、頭痛、全身倦怠、<br>結膜の炎症、眼瞼浮腫、目やに            | 主要症状が消失したときから                              | 病院  |
| 腸管出血性大腸菌<br>感染症(O-157類) | 3~7日   | 発症後約4日~7日                     | 発熱、倦怠感、下痢、<br>腹痛、鮮血便                     | 症状が完全になくなり、<br>主治医が登園してよいと<br>認められるとき      | 病院  |
| 髄膜炎菌性髄膜炎                | 4日以内   | 有効治療後24時間以内                   | 頭痛、発熱、嘔吐。<br>首が硬い。ショック症状                 | 感染のおそれが無いと医師が<br>認めるまで                     | 病院  |
| 溶連菌感染症                  | 2~4日   | 潜伏期間後半~<br>発症後7日間             | 発熱、咽頭痛、扁桃腺炎、莓舌、<br>頸部リンパ節炎、全身に発疹         | 有効治療を始めてから24時間<br>経過したとき                   | 保護者 |
| マイコプラズマ肺炎<br>(うつる肺炎)    | 10~24日 | 感染力が強い急性期                     | 咳、発熱、呼吸困難                                | 発熱や激しい咳が治まっている事                            | 保護者 |
| 流行性嘔吐下痢症<br>(ロタ・ノロ等)    |        | 不定期                           | 発熱、下痢、嘔吐                                 | 嘔吐、下痢などの症状が治まり普段の食事がとれること                  | 保護者 |
| 手足口病<br>ヘルパンギーナ(咽頭)     | 3~6日   | 水疱消滅まで                        | 発熱、感冒症状、手足口<br>咽頭に紅斑→水疱                  | 解熱し、食事も十分でき、<br>元気になったとき                   | 保護者 |
| 伝染性紅斑<br>(りんご病)         | 4~14日  | 発疹の出現以前                       | 顔面紅斑、特に頬部の<br>紅斑性発疹                      | 発疹のみで元気なら<br>登園可能だが妊婦の感染注意                 | 保護者 |
| 帯状疱疹                    | 不定期    | 水疱を形成している間                    | 皮膚の痛みやかゆみ<br>発疹や水膨れ                      | 全ての発疹がかさぶたになったときから                         | 保護者 |
| RSウイルス感染症               | 4~6日   | 呼吸症状のある間                      | 発熱・咳・呼吸が苦しくなる等                           | 呼吸症状が消失し、全身状態が良いこと                         | 保護者 |